



エコドゥ  
eco-do!

2019. 10. 20号

## NIIGATA光のページェント 今年もやります！

新潟駅南「けやき通り」の冬の風物詩「NIIGATA光のページェント」。今年も開催が決定しました。実行委員一同、みなさまのお越しを心からお待ちしております。また、ご協賛もお願いいたします！

【日時】12月6日(金)～1月31日(金)の 17:00～24:30

【点灯式】12月6日 17:00～

ゴスペルやダンスのライブ

あたたかい豚汁やホットワインなどの飲食ブース

18:30頃点灯

【協賛】法人10,000円 個人3,000円で協賛を募集しております。

※弊社代表の横木が実行委員長を務めていますので、詳しくはお問合せください。



## 「Eco列車でいこう！」～第124回～ もう一つのワールドカップ(上)

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！)



夏が始まる頃、ラグビーワールドカップのチケットを購入した。

【10月13日(日) 岩手県 釜石鵜住居(うのすまい)復興スタジアム 「カナダvsナミビア」】

釜石市は、人口36000人。かつて製鉄の大工場が稼働し、社会人ラグビーチーム「新日鉄釜石」が日本選手権7連覇を果たし、「北の鉄人」と呼ばれたラグビーの街である。鉄鋼不況で人口が大幅に減ったうえに、東日本大震災の津波で、多くの犠牲者が出た。

活気なくなった街の有志が、ラグビーワールドカップを誘致し、横浜や大阪などの大都市とともに開催地の1つに選ばれ、2試合が行われることになった。津波の被害にあった鵜住居小学校の跡地にスタジアムを建設し、市民総出で開催を祝った。

開催までの年表を下記に記す。

- 平成21年 7月 国際ラグビーボード理事会にて、日本がラグビーワールドカップ2019™開催国に決定
- 平成23年 3月 東日本大震災 津波発災  
(釜石市: 死者888名、行方不明者152名、家屋倒壊3656棟、津波痕跡高 最大22.6m)
- 平成23年12月 釜石市民有志による「釜石ラグビーワールドカップ2019™を語る会」開催
- 平成24年 7月 釜石市教育委員会事務局スポーツ推進課に「ラグビーワールドカップ誘致推進室」設置
- 平成26年 7月 釜石市が開催都市への立候補を表明
- 平成27年 3月 岩手県・釜石市が国内12開催都市の一つに決定
- 平成29年 7月 釜石鵜住居復興スタジアム着工
- 平成30年 8月 スタジアム完成

絶望の日から9ヶ月後に「ワールドカップを語る会」を開催したとき、「そんな夢みたいな話を」「復興もしていないのに、ラグビーとは何事か」「スタジアムを作るのは無理じゃないか。という意見も出ただろう。

しかし、この計画は、絶望の中の「一筋の光」になったであろうし、釜石市民の「心のよりどころ」にもなったことだろう。

「復興の象徴」である国際試合。その開催の場に立ち会いたかった。釜石市民とワールドカップを楽しみたかった。

数件しかない釜石市内のホテルはすべて満室だったため、「釜石民泊事務局」を通じて、一人暮らしのおじいさんの家に泊まらせてもらうことにした。お土産のおせんべいを用意したり、カナダとナミビアの国歌を覚えたり、フェイスシールを用意したりして、楽しみに10月14日を待っていた。

その一方でテレビでは、「超大型の台風19号が迫っている」と連日伝えていた。(次号につづく)